

モジャコ情報 No.1

平成31年4月25日
和歌山県水産試験場

調査日：2019年4月12日（沿岸定線：潮岬～江須崎）

調査船名：きのくに

調査海域：潮岬（2～10マイル）～江須崎（2～10マイル）の沿岸（沿岸定線）

.....調査結果の特徴.....

1. 調査時の黒潮は、室戸岬で離岸、潮岬で大きく離岸している。
2. 調査海域の表面水温は16℃～18℃台で、潮岬10マイルは18.7℃である。
3. 流れ藻の採集は、紀南沿岸域の江須崎10マイルから潮岬10マイルの途中で2個、潮岬10マイルから潮岬6マイルの途中で3個を採集した。
4. モジャコの付着状況は、採集した5個すべてにみられ、合計87尾である。
5. モジャコのサイズ(FL)は、12～48mmで平均22.3mm、昨年同期よりやや小型である。

.....

[海況]

4月12日の関東東海海況速報によると、黒潮は室戸岬で離岸、潮岬で大きく離岸し、遠州灘沖で31°N以南に達している。紀南沿岸域では、市江～すきみ沿岸は16℃台、紀伊水道内は13～14℃台である。

調査船「きのくに」による調査海域の表面水温は16℃～18℃台で、潮岬10マイルは18.7℃である。

[流れ藻の分布状況]

今回の調査では、紀南沿岸域の江須崎10マイルから潮岬10マイルの途中で2個、潮岬10マイルから潮岬6マイルの途中で3個を採集した。

[モジャコの付着状況と体長組成]

今回の調査では採集した5個すべてにモジャコの付着が確認できた。付着数は合計87尾である。流れ藻1個あたり平均17.4尾で、昨年の平均3.0尾より多い。

魚体の大きさ(FL)は、12～48mmで平均22.3mmであり、昨年の43.6mmよりやや小型であった。採集した流れ藻の大きさは、0.5m×0.5m～2.0m×2.0mで、昨年よりやや小さい。

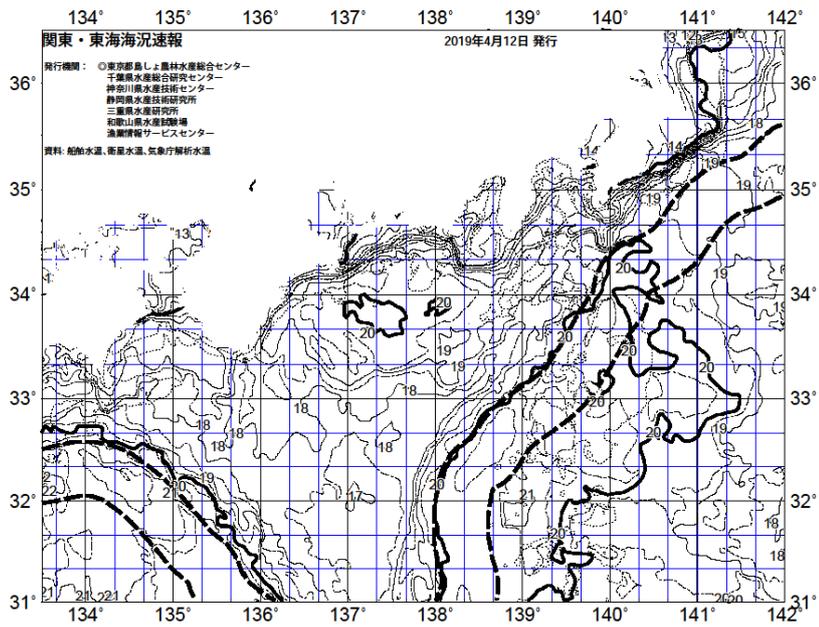


図1 2019年4月12日の関東東海海況図

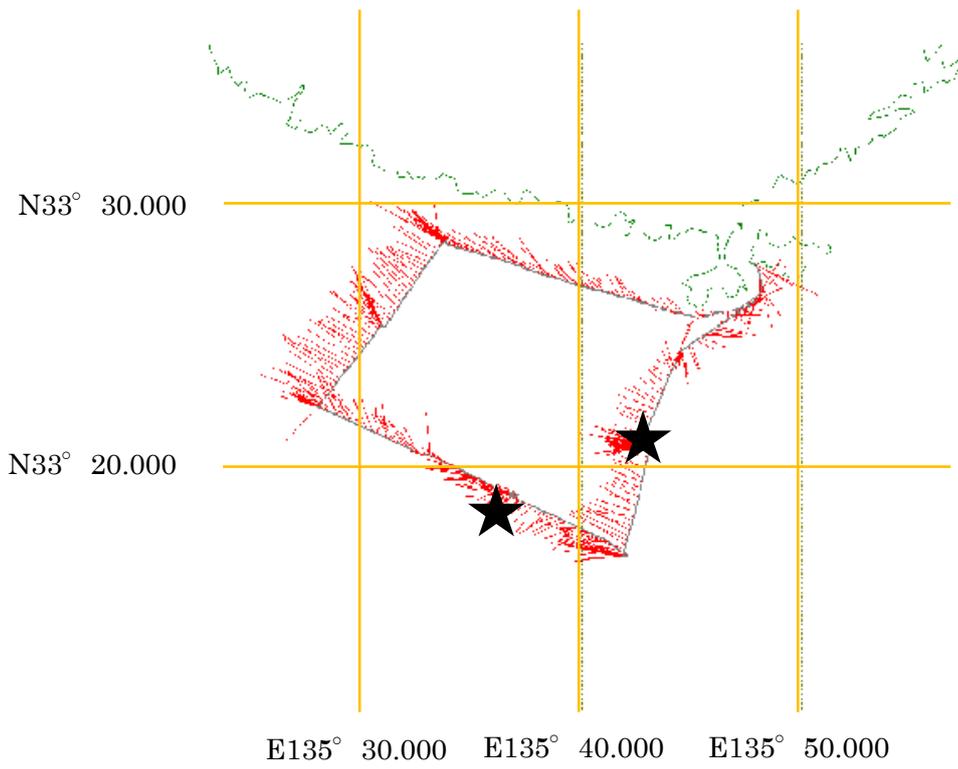


図2 2019年4月12日の調査航跡および表層（10m）の流向流速
★流れ藻の採集

表1 流れ藻の採集状況 (2019/04/12)

No.	日	時間	緯度	経度	水温℃	魚種・個体数
1	4月12日	13:05	33° 18.84'N	135° 36.73'E	18.4	ブリ26、ハナオコゼ1、メジナ属1、ギンカガミ1
2	4月12日	13:05	33° 18.84'N	135° 36.73'E	18.4	ブリ26
3	4月12日	14:59	33° 20.75'N	135° 42.65'E	19.0	ブリ15、メダイ1、ハナオコゼ2、イシガキダイ1
4	4月12日	14:59	33° 20.75'N	135° 42.65'E	19.0	ブリ7
5	4月12日	14:59	33° 20.75'N	135° 42.65'E	19.0	ブリ13

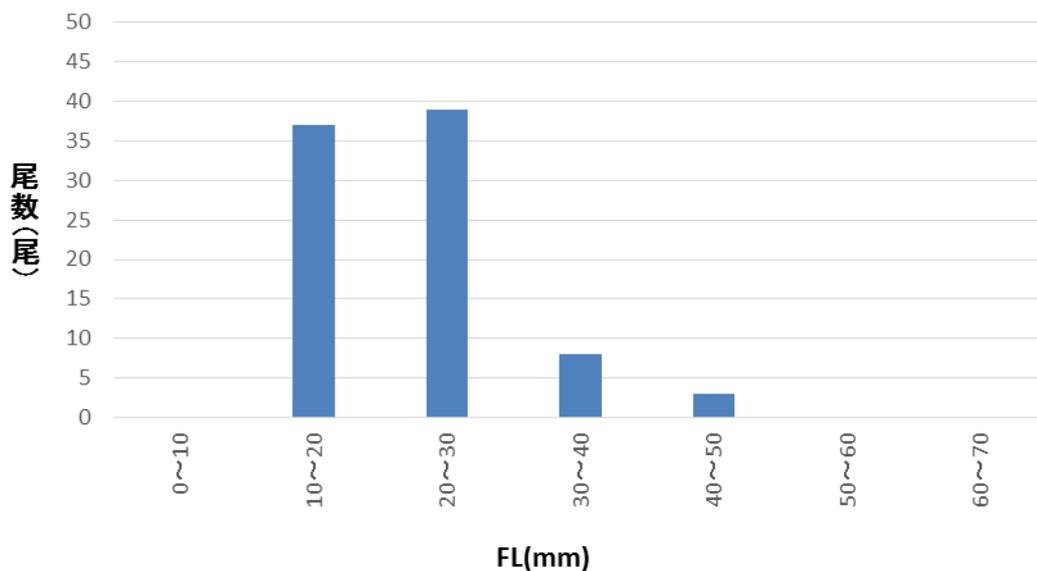


図3 モジャコのFL組成 2019/04/12

モジャコ情報 No.2

平成 31 年 4 月 26 日

和歌山県水産試験場

調査日：2019 年 4 月 17 日（浅海定線 1 日目：潮岬～和歌浦）

調査船名：きのくに

調査海域：田辺湾～和歌浦の沿岸(2 マイル以近)（浅海定線）

.....調査結果の特徴.....

1. 調査時の黒潮は、室戸岬で離岸、潮岬で大きく離岸している。
2. 調査海域の表面水温は 14～17℃台である。
3. 流れ藻の採集は、みなべ 2 マイル沖付近で 3 個を採集した。
4. モジャコの付着状況は、採集した 3 個すべてにみられ、合計 81 尾である。
5. モジャコのサイズ (FL) は、12～46mm で平均 23.4mm、前回調査（4 月 12 日沿岸定線：潮岬～江須崎）とほぼ同じ大きさである。

.....

[海況]

4 月 17 日の関東東海海況速報によると、黒潮は室戸岬で離岸、潮岬で大きく離岸し、遠州灘沖で 31° N 以南に達している。紀伊水道外域の沿岸は 15～17℃台、紀伊水道内は 13～15℃台である。

調査船「きのくに」による調査海域の表面水温は 14～17℃台で、潮岬 2 マイルは 18.8℃である。

[流れ藻の分布状況]

今回の調査では、みなべ 2 マイル沖付近で 3 個を採集した。同海域では 10 数個の流れ藻を確認した。

[モジャコの付着状況と体長組成]

今回の調査では採集した 3 個すべてにモジャコの付着が確認できた。付着数は合計 81 尾である。流れ藻 1 個あたり平均 27 尾で、前回調査（4 月 12 日沿岸定線：潮岬～江須岬）の平均 17.4 尾より多い。

魚体の大きさ (FL) は、12～46mm で平均 23.4mm であり、前回調査の 22.3mm と同程度の大きさであった。採集した流れ藻の大きさは、0.5m×0.5m～2.0m×2.0m で、前回調査と同程度の大きさであった。

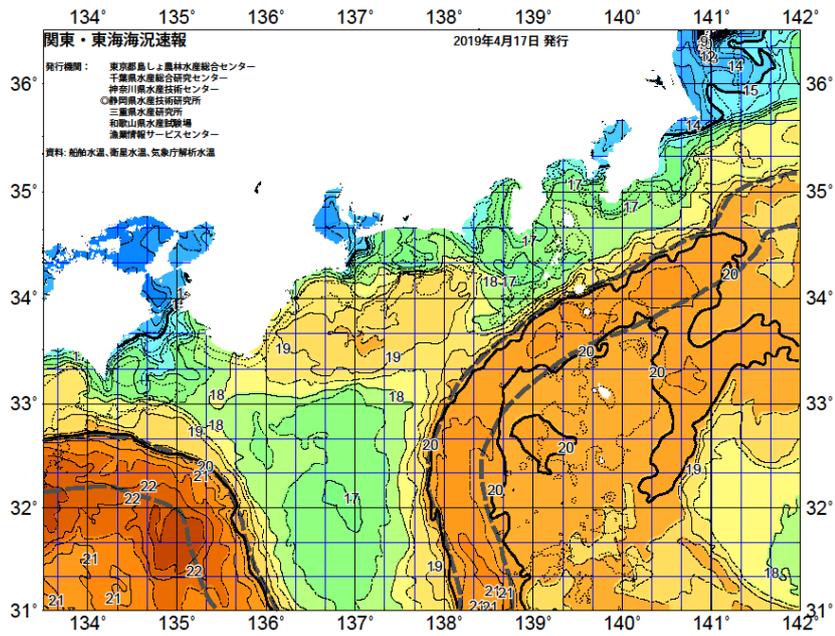


図1 2019年4月17日の関東東海海況図

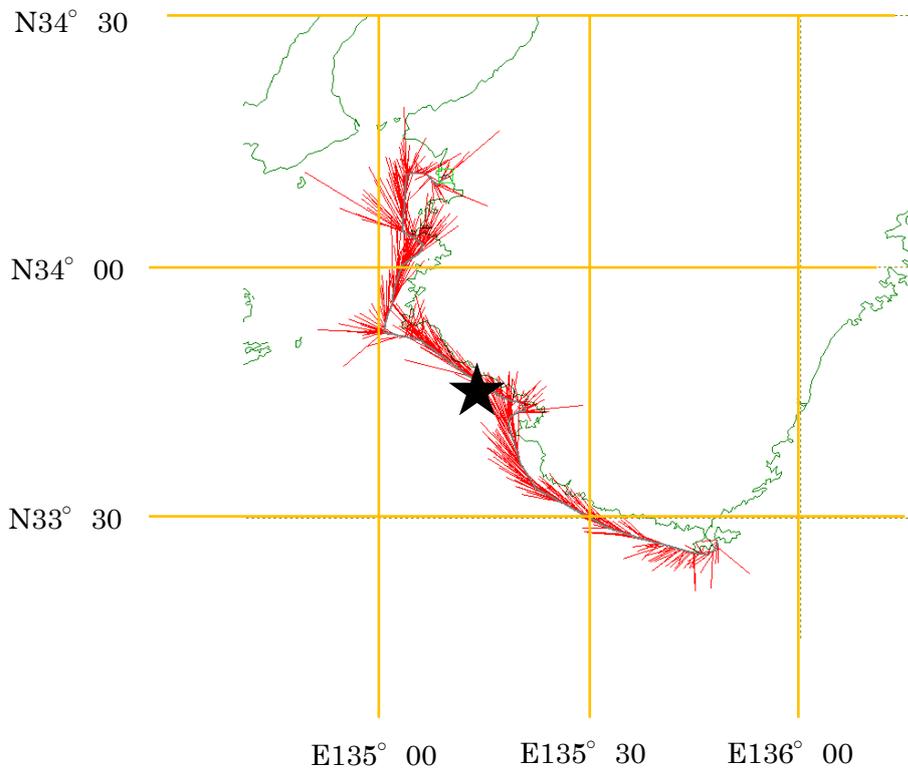


図2 2019年4月17日の調査航跡および表層（17m）の流向流速
★：流れ藻の採集場所

表1 流れ藻の採集状況 (2019/04/17)

No.	日	時間	緯度	経度	水温℃	魚種・個体数
1	4月17日	12:55	33° 43.50'N	135° 06.68'E	18.1	モジャコ35
2	4月17日	12:55	33° 43.50'N	135° 06.68'E	18.1	モジャコ20、ハナオコゼ1、メバル属1、不明1
3	4月17日	12:55	33° 43.50'N	135° 06.68'E	18.1	モジャコ26

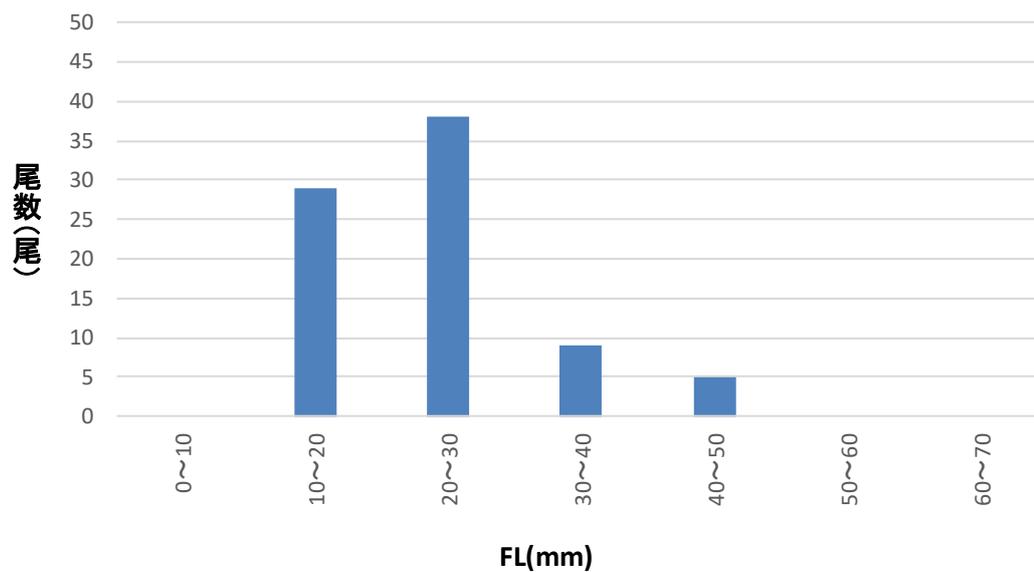


図3 モジャコのFL組成 2019/04/17

モジャコ情報 No.3

平成 31 年 4 月 26 日

和歌山県水産試験場

調査日：2019 年 4 月 22 日（沖合定線：潮岬～潮岬 120 マイル）

調査船名：きのくに

調査海域：潮岬～黒潮中心部（沖合定線）

.....調査結果の特徴.....

1. 調査時の黒潮は、室戸岬で離岸、潮岬で大きく離岸している。
2. 調査海域の表面水温は 18～24℃台である。
3. 流れ藻の採集は、潮岬 2 マイル沖付近で 2 個、潮岬 15 マイル沖で 2 個採集した。
4. モジャコの付着状況は、採集した 4 個すべてにみられ、合計 113 尾である。
5. モジャコのサイズ (FL) は、11～94mm で平均 32.3mm、前回調査 23.4mm（4 月 17 日浅海定線 1 日目：潮岬～和歌浦）より大きい。

.....

[海況]

4 月 22 日の関東東海海況速報によると、黒潮は室戸岬で離岸、潮岬で大きく離岸し、遠州灘沖で 31° N 以南に達している。潮岬沿岸から 70 マイルまでは 18℃から 20℃のなだらかな変化で、黒潮の影響を受ける潮岬沿岸から 80 マイル以遠では 21℃以上の高水温となっている。

調査船「きのくに」による調査海域の表面水温は 18～24℃台で、潮岬 2 マイルは 19.3℃である。

[流れ藻の分布状況]

今回の調査では、潮岬 2 マイル沖付近で 2 個、潮岬 15 マイル沖で 2 個を採集した。潮岬 2 マイル沖付近で多数の流れ藻を確認した他、潮岬 10 マイル沖から 30 マイル沖間で潮目が多くあり多数の流れ藻を確認した。これより沖では流れ藻は漸減したものの、黒潮北縁（同 100 マイル沖）付近で纏まって確認した。

[モジャコの付着状況と体長組成]

今回の調査では採集した 4 個すべてにモジャコの付着が確認できた。付着数は合計 113 尾である。流れ藻 1 個あたり平均 28.3 尾で、前回調査（4 月 17 日浅海定線 1 日目：潮岬～和歌浦）の平均 27 尾と同程度。

魚体の大きさ (FL) は、11～94mm で平均 32.3mm であり、前回調査の 23.4mm より大きかった。採集した流れ藻の大きさは、0.5m×0.5m～2.0m×2.0m で、と同程度の大きさであった。

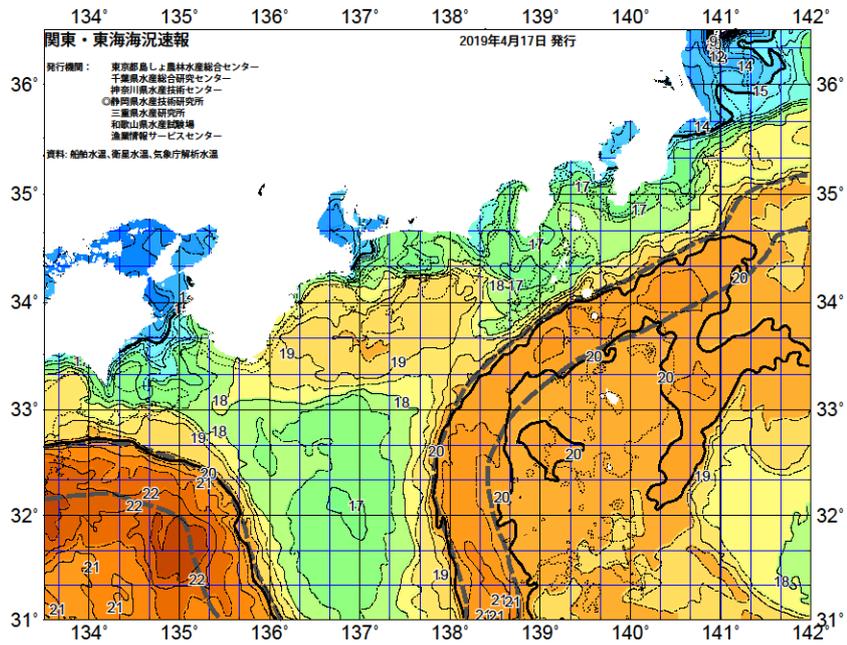


図1 2019年4月22日の関東東海海況図

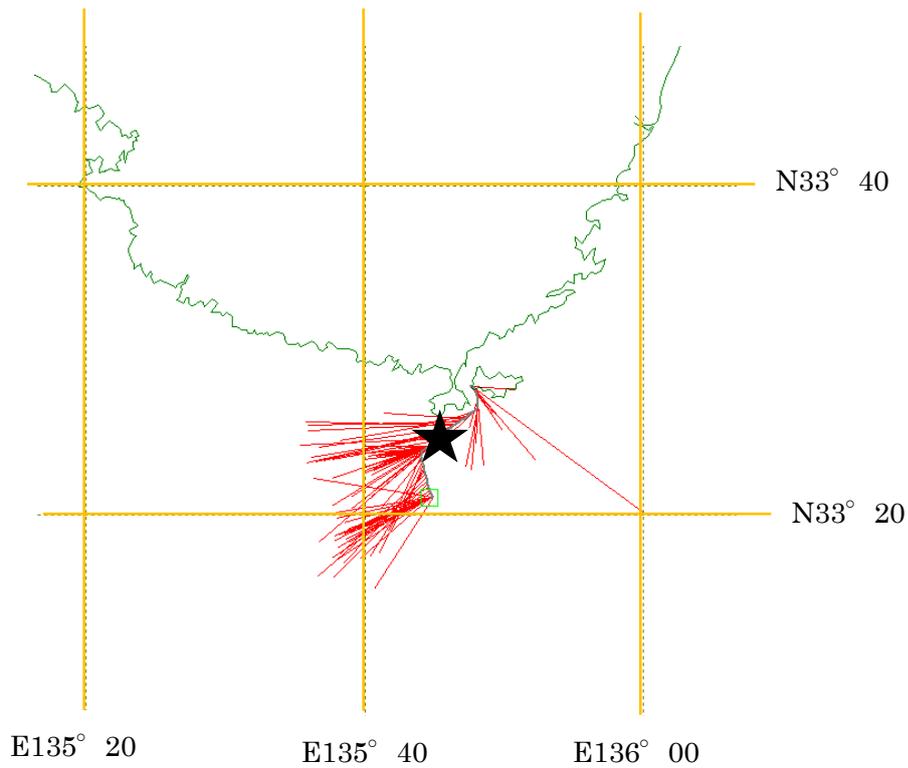


図2 2019年4月22日の調査航跡（潮岬5マイル沖まで）および表層（17m）の流向流速
★：流れ藻の採集場所

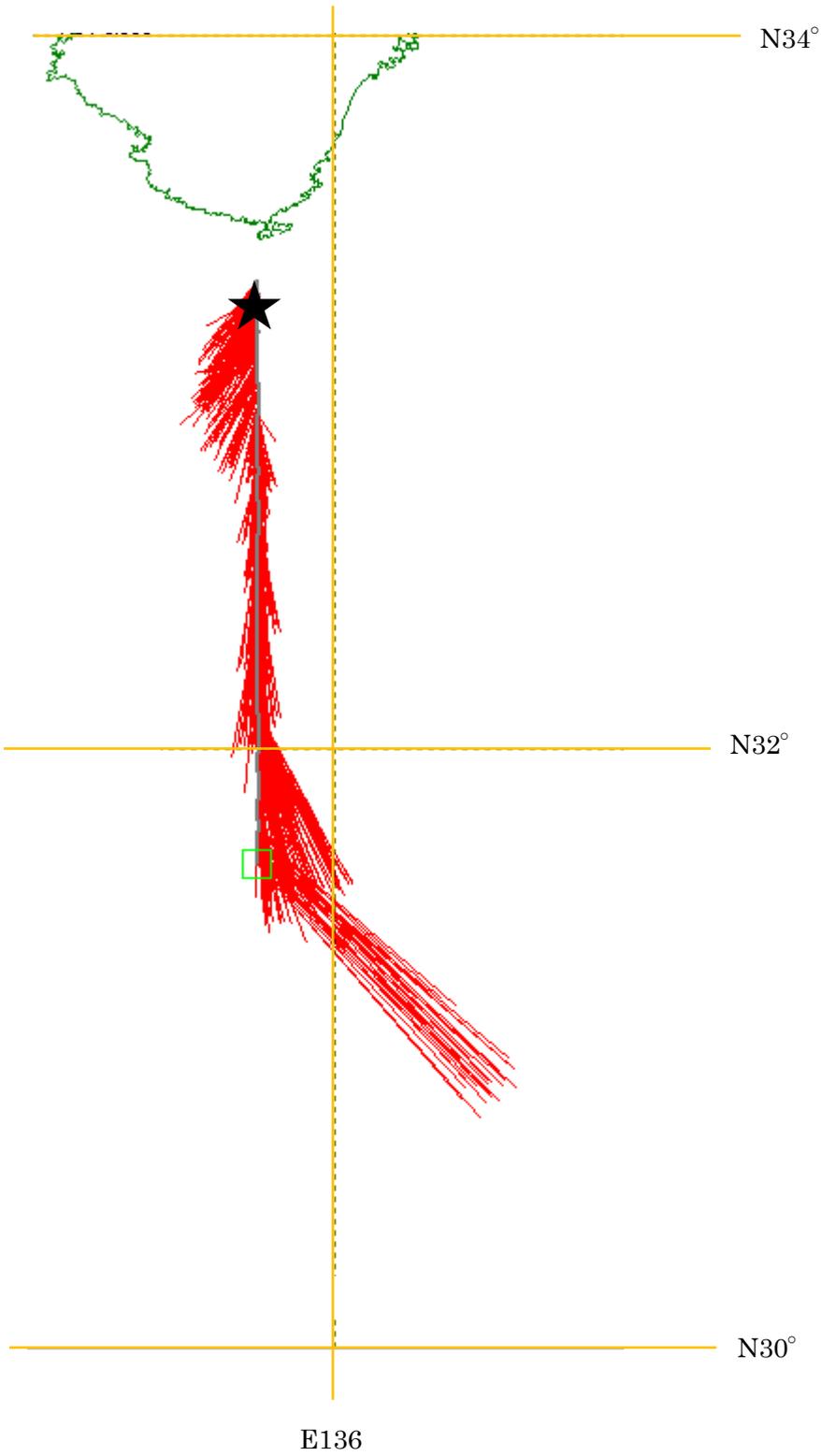


図3 2019年4月22日の調査航跡（潮岬10マイル沖～120マイル沖まで）
 および表層（17m）の流向流速 ★：流れ藻の採集場所

表1 流れ藻の採集状況 (2019/04/22)

No.	日	時間	緯度	経度	水温℃	魚種・個体数
1	4月22日	9:05	33° 24.20'N	135° 44.80'E	19.3	モジャコ40、カンパチ1(103mm・17.63g)、マアジ2、不明3
2	4月22日	9:05	33° 24.20'N	135° 44.80'E	19.3	モジャコ49、ハナオコゼ1、マアジ1、メジナ属8 イシガキダイ1、不明9、ヤムシ多数
3	4月22日	10:55	33° 11.34'N	135° 45.00'E	18.8	モジャコ16
4	4月22日	10:55	33° 11.34'N	135° 45.00'E	18.8	モジャコ8

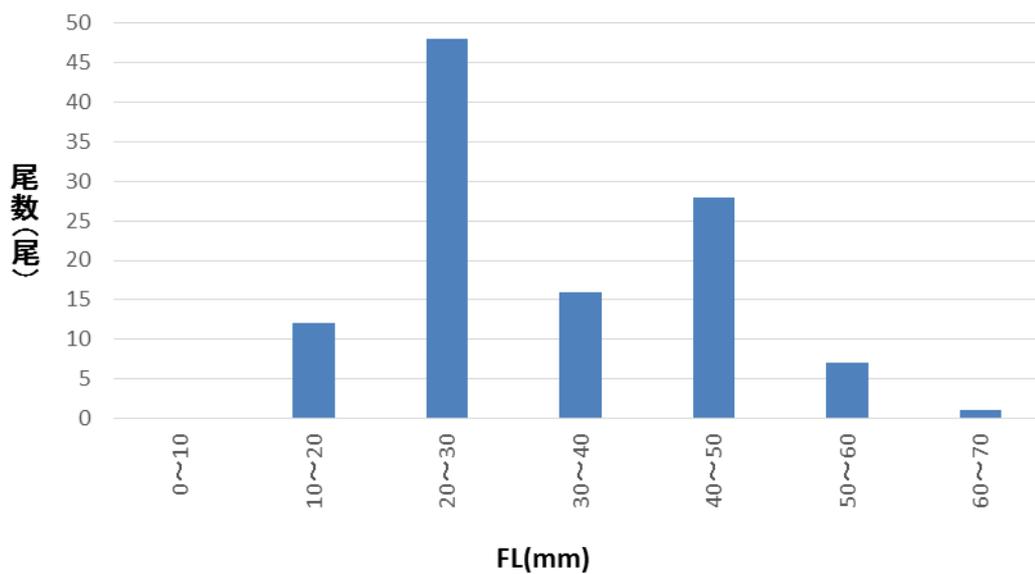


図3 モジャコのFL組成 2019/04/22

モジャコ情報 No.4

令和元年 5月17日
和歌山県水産試験場

調査日：2019年5月13日（沿岸定線：熊野灘）

調査船名：きのくに

調査海域：潮岬（2～10マイル）～熊野（2～10マイル）の沿岸（沿岸定線）

.....調査結果の特徴.....

1. 調査時の黒潮は、室戸岬で離岸、潮岬で大きく離岸している。
2. 調査海域の表面水温は20～22℃台である。
3. 流れ藻の採集は、潮岬5マイル沖から10マイル沖の途上で3個、太地2マイル沖で2個採集した。
4. モジャコの付着状況は、採集した5個中4個にみられ、合計49尾である。
5. モジャコのサイズ（FL）は、11～93mmで平均58.2mm、前回調査32.3mm（4月22日沖合定線：潮岬～潮岬120マイル）より大きい。

.....

[海況]

5月13日の関東東海海況速報によると、黒潮は室戸岬で離岸、潮岬で大きく離岸し、遠州灘沖で31°N以南に達している。潮岬沿岸～熊野灘は20℃から22℃のなだらかな変化となっている。

漁業調査船「きのくに」による調査海域の表面水温は20～22℃台である。

[流れ藻の分布状況]

今回の調査では、潮岬5マイル沖から10マイル沖の途上で3個、太地2マイル沖で2個採集した。両海域ではそれぞれ10数個の流れ藻を確認した。

[モジャコの付着状況と体長組成]

今回の調査では採集した5個中4個にモジャコの付着が確認できた。付着数は合計49尾である。モジャコ付着のあった流れ藻では1個あたり平均12.3尾付着しており、前回調査（4月22日沖合定線：潮岬～潮岬120マイル）の平均28.3尾より少ない。

魚体の大きさ（FL）は、11～93mmで平均58.2mmであり、前回調査の32.3mmより大きかった。採集した流れ藻の大きさは、1.0m×1.0m～2.0m×2.0mで、前回より大きかった。

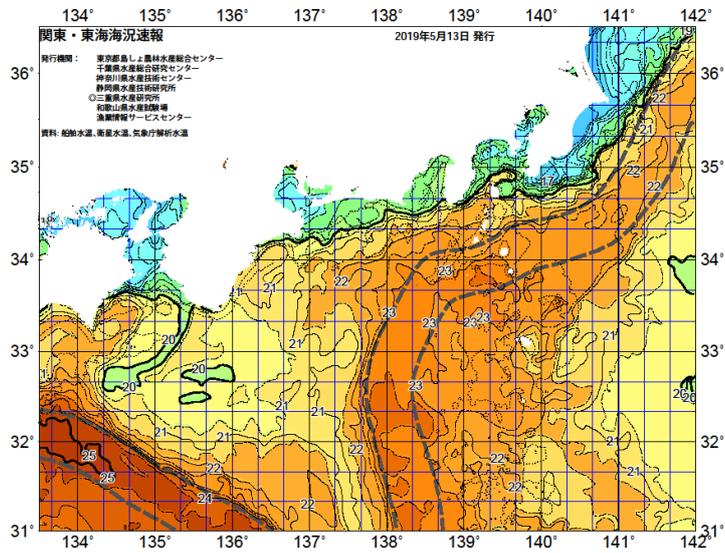


図1 2019年5月13日の関東東海海況図

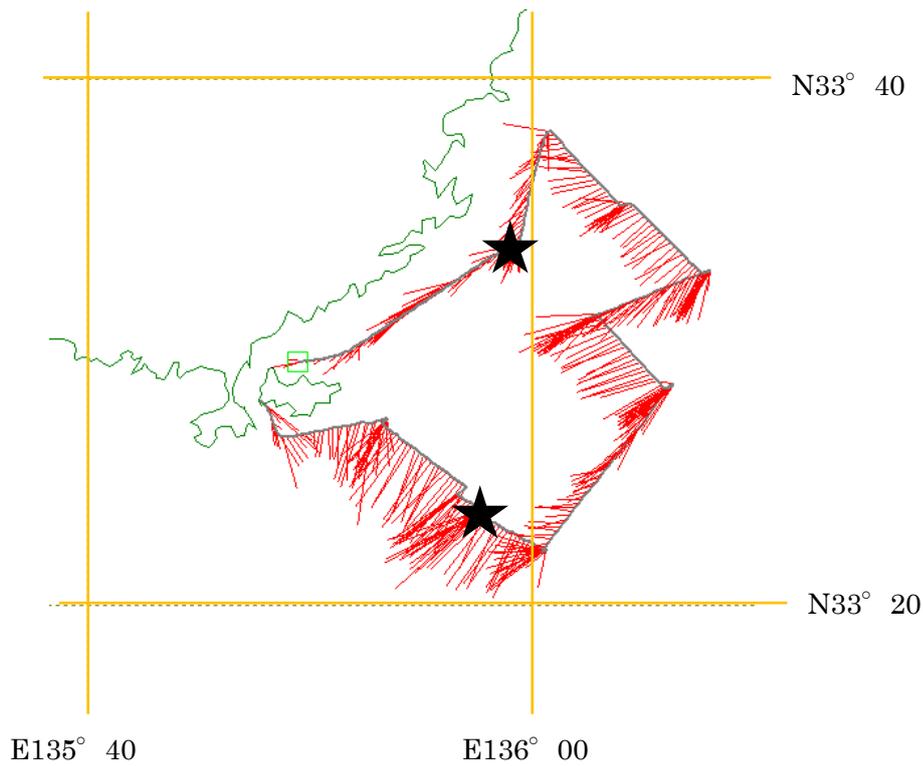


図2 2019年5月13日の調査航跡および表層（17m）の流向流速
★：流れ藻の採集場所

表1 流れ藻の採集状況 (2019/05/13)

2019年4回目調査

No.	日	時間	緯度	経度	水温°C	魚種・個体数
1	5月13日	11:00	33° 23.54'N	135° 57.69'E	20.9	モジャコ14、カンパチ1(65mm、4.77g)
2	5月13日	11:00	33° 23.54'N	135° 57.69'E	20.9	メダイ11、イシガキダイ2、オヤビッチャ1 イスズミ属1、メジナ属1
3	5月13日	11:00	33° 23.54'N	135° 57.69'E	20.9	モジャコ26
4	5月13日	15:55	33° 33.70'N	135° 59.50'E	22.0	モジャコ6
5	5月13日	15:55	33° 33.70'N	135° 59.50'E	22.0	モジャコ3、ハナオコゼ1

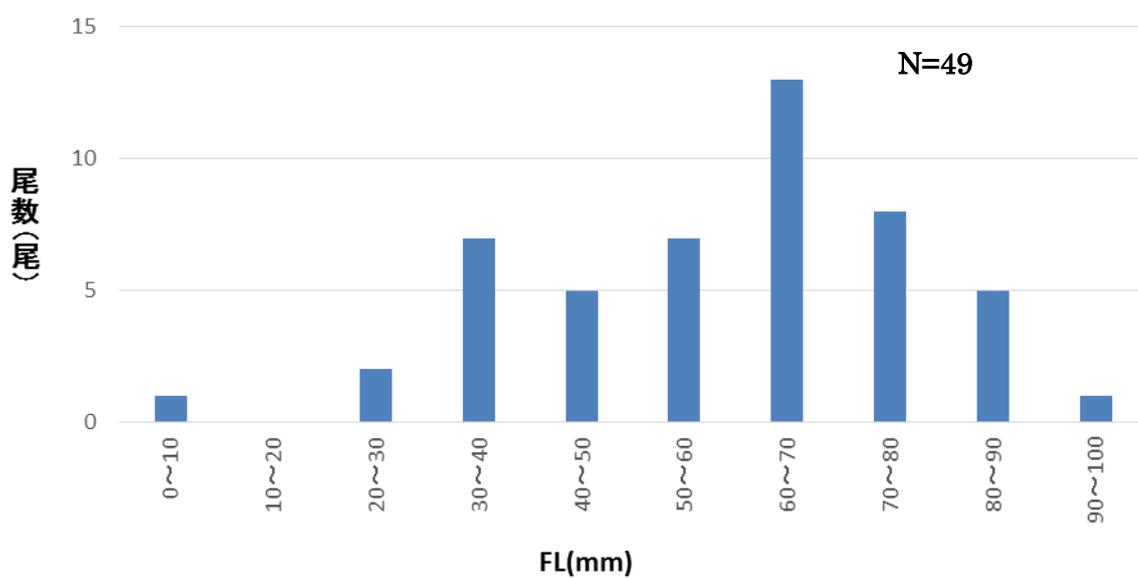


図3 モジャコのFL組成 2019/5/13